【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公表番号】特表2013-515412(P2013-515412A)
【公表日】平成25年5月2日(2013.5.2)
【年通号数】公開・登録公報2013-021
【出願番号】特願2012-545151(P2012-545151)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　1/59　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　1/10　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　1/40　(2015.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　1/59
Ｈ０４Ｂ　1/10　Ｎ
Ｈ０４Ｂ　1/40

【誤訳訂正書】
【提出日】平成27年3月11日(2015.3.11)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のＮＦＣ機器（１００）と第２のＮＦＣ機器との間で近距離無線通信（Ｎｅａｒ Ｆｉｅｌｄ Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ［ＮＦＣ］）を行うためのプロセスであって、
前記第１のＮＦＣ機器（１００）は、ＮＦＣ送受信機（１０）およびＦＭ受信機（２０）を含み、両者とも同じチップに集積化され、
前記ＮＦＣ送受信機（１０）は、ＮＦＣ動作周波数で動作し、
前記ＦＭ受信機（２０）は、ＦＭ動作周波数で動作し、
当該プロセスは、
前記第２のＮＦＣ機器を検出するための機器検出ポーリングループを実施するために前記ＮＦＣ機器（１００）を初期化するステップ（２００）であって、前記機器検出ポーリングループは周期的に発生するアクティビティ検出期間を含む、ステップと、
前記ＮＦＣ送受信機（１０）内で、タイムスロットにおける前記アクティビティ検出期間のスライシングを行うステップ（２５０）であって、前記タイムスロットのそれぞれは、前記ＮＦＣ動作周波数の高調波によって生成され、ユーザに聞き取られ得る雑音を低減するためのある所定値を下回る持続期間を有する、ステップと、を含む方法。
【請求項２】
前記タイムスロットが前記ポーリングループ内でランダムにスケジュールされることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記ＦＭ受信機によって受信されるオーディオ信号のブランキングを行うステップ（２６０）を含み、
前記ブランキングは前記タイムスロットの間に発生することを特徴とする請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
前記ＦＭ動作周波数を判定するステップ（２１０）と、

前記ＦＭ動作周波数を前記ＮＦＣ動作周波数の高調波と比較するステップ（２２０）と、

前記ＦＭ動作周波数が前記ＮＦＣ動作周波数の１つの高調波に近いときに、前記アクティビティ検出期間の前記スライシング動作を有効化するステップ（２４０）と、を含むことを特徴とする請求項１または２または３に記載の方法。

【請求項５】

前記所定値が１０ミリ秒に設定されていることを特徴とする請求項１から４のいずれか一項に記載の方法。

【請求項６】

前記第１のＮＦＣ機器がイニシエータモードまたはターゲットモードに設定されていることを特徴とする請求項１から５のいずれか一項に記載の方法。

【請求項７】

前記機器検出ポーリングループが、検出形式Ａ、検出形式Ｂ、検出形式Ｆ－２１２、検出形式Ｆ－４２４、検出１５６９３という種類の形式を検出することを特徴とする請求項１から６のいずれか一項に記載の方法。

【請求項８】

同じチップに集積化されるＮＦＣ送受信機（１０）およびＦＭ受信機（２０）を含み、前記ＮＦＣ送受信機（１０）はＮＦＣ動作周波数で動作し、前記ＦＭ受信機（２０）はＦＭ動作周波数で動作する、近距離無線通信（ＮＦＣ）機器であって、

周期的なアクティビティ検出期間に基づいて、第２のＮＦＣ機器を検出するための機器検出ポーリングループを初期化するための手段と、

ある所定値を下回る持続期間を有するタイムスロットにおける前記アクティビティ検出期間をスライスするための手段（３０、４０）と、を備え、

それによって、前記ＮＦＣ動作周波数の高調波によって生成される雑音が前記ＦＭ受信機において低減される、ＮＦＣ機器。

【請求項９】

前記ポーリングループ内で前記タイムスロットをランダムにスケジュールするための手段をさらに含む請求項８に記載の近距離無線通信（ＮＦＣ）機器。

【請求項１０】

前記タイムスロットの間に前記ＦＭ受信機によって受信されるオーディオ信号をブランキングするための手段（５０）をさらに含む請求項８または９に記載の近距離無線通信（ＮＦＣ）機器。

【請求項１１】

前記ＦＭ受信機によって使用される前記ＦＭ動作周波数を前記ＮＦＣ動作周波数の高調波と比較し、前記比較に続いてさらに、前記ブランキングするための手段（５０）を有効化するための制御部（３０）をさらに含む請求項１０に記載の近距離無線通信（ＮＦＣ）機器。

【請求項１２】

前記所定値が１０ミリ秒に設定されていることを特徴とする請求項８から１１のいずれか一項に記載の近距離無線通信（ＮＦＣ）機器。

【請求項１３】

検出形式Ａ、検出形式Ｂ、検出形式Ｆ－２１２、検出形式Ｆ－４２４、検出１５６９３という種類の形式を検出するように構成されていることを特徴とする請求項８から１２のいずれか一項に記載の近距離無線通信（ＮＦＣ）機器。

【請求項１４】

前記ＦＭ受信機と前記ＮＦＣ送受信機との前記集積化がシステム・オン・チップ（ＳＯＣ）またはシステム・イン・パッケージ（ＳＩＰ）集積化であることを特徴とする請求項８から１２のいずれか一項に記載の近距離無線通信（ＮＦＣ）機器。

【請求項１５】

前記ポーリングループがソフトウェアで構成されていることを特徴とする請求項８から

１４のいずれか一項に記載の近距離無線通信（ＮＦＣ）機器。